

平成20年度 地域分権

事業の評価書

鉢塚・緑丘地区コミュニティ推進協議会

平成 21年 5月 24日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 鉢塚・緑丘地区コミュニティ推進協議会
代表者名 梶田 良治

記

事業の名称	安心して暮らせるまちをめざし～防災器具の強化～
事業実施前の状況	災害発生時等に、対応する手段が無かった。
事業実施後の状況	鉢塚自主防災隊・アルビス緑丘自主防災会の防災倉庫に発電機各2台・コードリールを配置。災害発生時等に、非常照明・炊き出し等に必要な電力を確保出来た。
事業の効果	今事業で設置した発電機は、鉢塚自主防災隊とアルビス緑丘自主防災会の防災倉庫に保管されており、災害等発生時に対応できる共に、防災訓練等に利用・活用されている。（鉢塚地区防災訓練5月・鉢塚盆踊り大会7月）
今後の課題等	災害発生時等に、対応する手段としての防災器具を充実して行く。

平成 21年 5月 24日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 鉢塚・緑丘地区コミュニティ推進協議会

代表者名 梶田 良治

記

事業の名称	コミュニティ推進協議会の広報用掲示板の設置
事業実施前の状況	緑丘小学校区には、各種団体の掲示板が有り、その掲示内容は各種団体や地区自治会等の特色を生かした利用がされていた。
事業実施後の状況	推進協議会の掲示板は、従来の掲示板の空白地区を補う形で設置。コミュニティ推進協議会の広報活動を中心に、各種団体・地区自治会等にも利用頂いており、小学校校区全体の情報掲示板として利用頂いています。
事業の効果	今事業は、鉢塚・緑丘地区コミュニティ推進協議会の活動内容等を、広く地域住民に知らせるための情報発信のため設置しましたが、現在ではそれに加え各種団体・地区自治会にも利用戴き、校区の情報掲示板としての役割を果たしています。
今後の課題等	推進協議会への参加や事業PR及び、緑丘小学校・各種団体・地区自治会への情報発信をしたい。

平成 21年 5月 24日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 鉢塚・緑丘地区コミュニティ推進協議会

代表者名 梶田 良治

記

事業の名称	ふれあい動物園の開園
事業実施前の状況	子供たちが小動物にふれあい、命の大切さを知る機会が少なかった。
事業実施後の状況	ふれあい動物園を開園することにより、若い子供連れの親子が増えた。会場案内板の作製設置のより、来場者の誘導がスムーズになった。
事業の効果	ふれあい動物園を開園することにより、若い子供連れの親子が増えた。小動物と触合うことで、生命の大切さと動物をより身近なものに感じてもらった。イベントが増えた事で混雑が緩和された。(観客動員数約8,500人)
今後の課題等	支援事業のため、3年後のコミュニティ推進協議会としての実施方法を検討しなければならない。

平成 21年 5月 24日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 鉢塚・緑丘地区コミュニティ推進協議会

代表者名 梶田 良治

記

事業の名称	緑丘校区ふれあいフェスティバル
事業実施前の状況	音響設備にかかる費用が無かった。
事業実施後の状況	のぼり・ポスターを作成し設置したことで、ふれあいフェスティバルの開催をより地域の皆さんに知ってもらうことが出来た。
事業の効果	入場者数が、2～3割増加した。フェスティバルを手伝ってくれるスタッフが増加した。
今後の課題等	地域の中からもっと出演者を募り、内容の充実をはかる。

平成 21年 5月 24日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 鉢塚・緑丘地区コミュニティ推進協議会
代表者名 梶田 良治

記

事業の名称	安心して暮らせるまちをめざし～AED3台の配置～
事業実施前の状況	救急車の到着まで、対応の措置が出来なかった。
事業実施後の状況	水月児童文化センター・アルビス緑丘集会場・鉢塚会館に各1台を配置。
事業の効果	水月児童文化センター・アルビス緑丘集会場・鉢塚会館に配置した事で、緊急時への対応措置の拠点が出来た。また、地域イベント等の会場に貸出し緊急時の対応に寄与することが出来た。（花菖蒲まつり・鉢塚盆踊り大会の2回）
今後の課題等	① AEDに関心・知識を持ってもらう ② AEDの配置箇所を増やして行く ③ AEDを活用した救命講習等を実施する